

第2回 イオンSATOYAMAフォーラム

第2部 新しいSATOYAMA

SATOYAMA イニシアティブ 国際パートナーシップ

国連大学サステナビリティ高等研究所 プログラム・コーディネーター 三宅 里奈



国連大学とは？

- 国連のシンクタンク（国連の研究機関）
- 日本に本部を置く唯一の国連機関
- 世界12か国に13の研究所
- ミッション：共同研究や教育を通じ、人類の生存や発展に関する国際課題の解決に寄与



国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)

主として以下4つのテーマを扱う。

- 持続可能な開発に関するガバナンス
- 生物多様性と社会
- 水資源管理
- 教育とイノベーション



SATOYAMAイニシアティブ

- 日本国環境省とUNU-IASが共同提唱。
- **自然と共生する社会**の実現のため、世界の里山・里海の保全・再生を促進する取組。

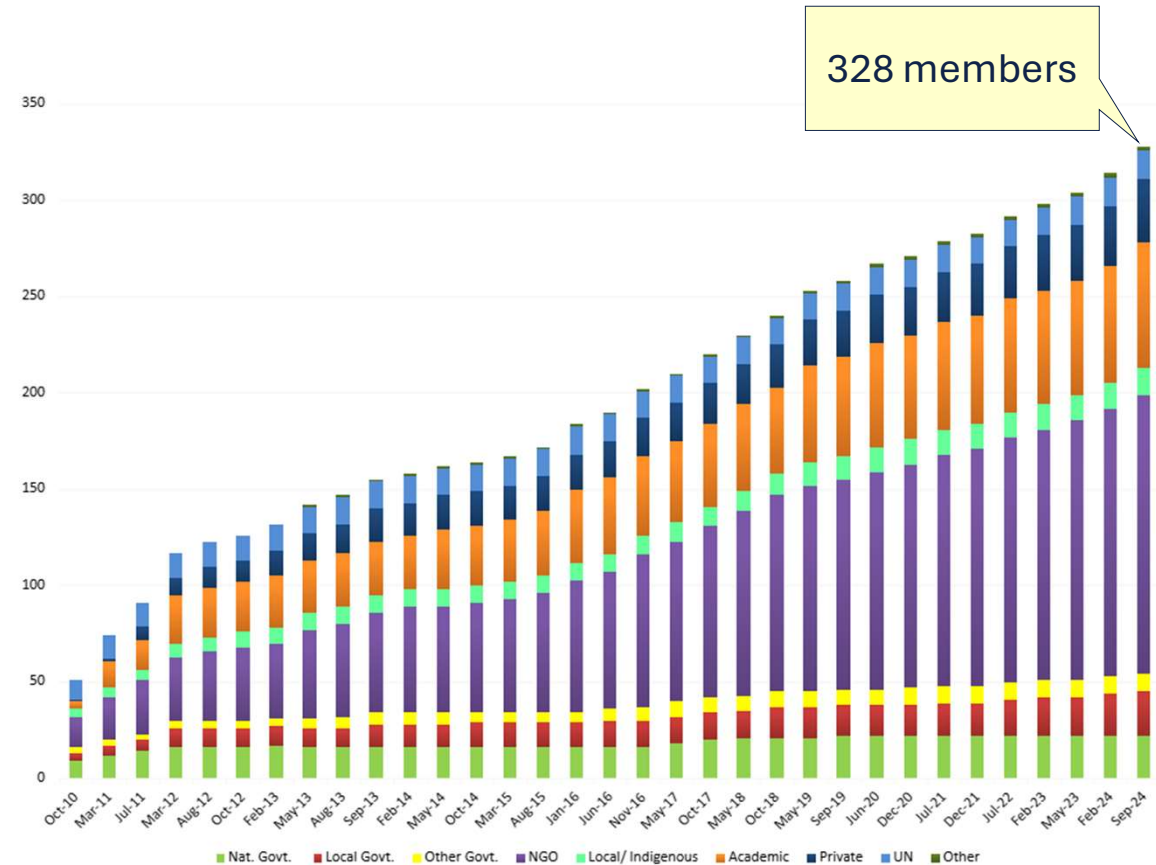


世界の里山
(社会生態学的 生産ランドスケープ・シースケープ：SEPLS)

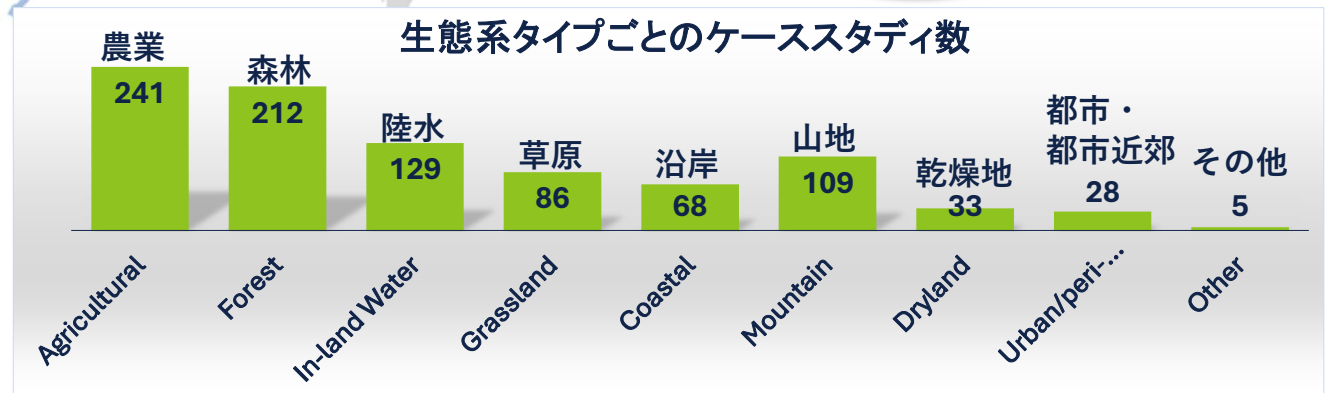
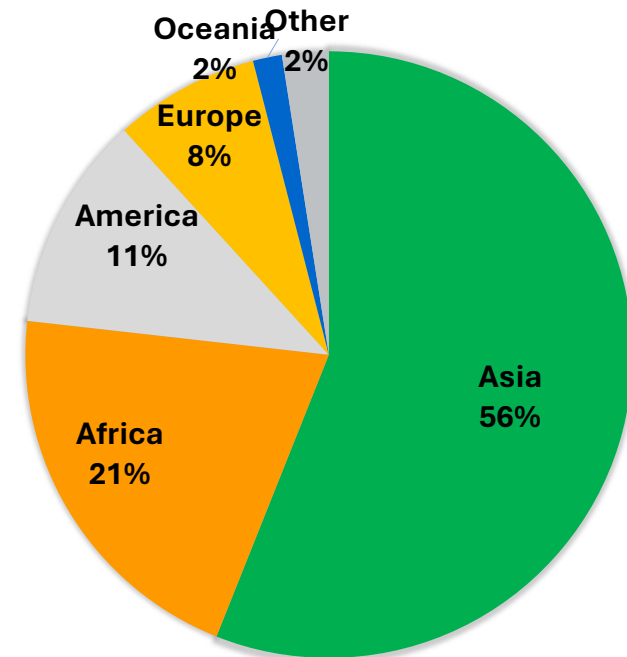


SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI)

- 自然共生社会の実現のため、
里山の維持・再構築に取り組む
国際プラットフォーム。
- 行政、NGO、先住民団体、学術研究
機関、企業、国際機関等328団体（現在）。
- 現場活動、研究、能力開発、政策等
多様な活動を展開。
- UNU-IASはIPSI事務局。



IPSIケーススタディ



UNU
IAS

@50
50TH ANNIVERSARY
UNITED NATIONS UNIVERSITY
2025



SATOYAMA
INITIATIVE

IPSIの主な活動

知見の共有 ネットワーク構築

- 会議
- イベント
- ワークショップ
- ウェビナー

情報提供の プラットフォーム

- ケーススタディ
- ウェブページ
- ニュースレター
- 出版物

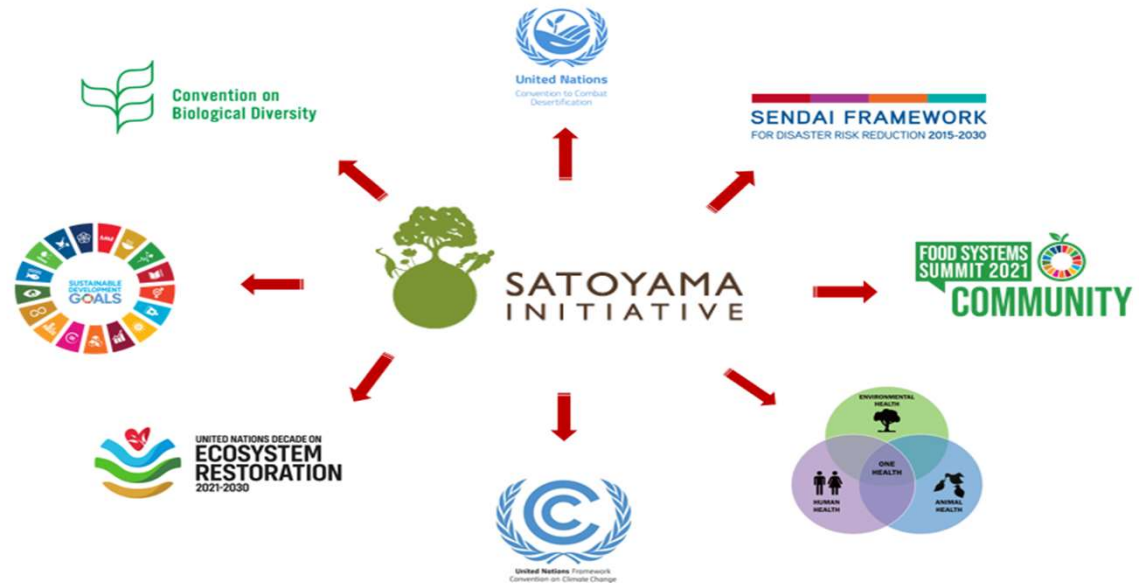
現場の活動推進 能力開発

- 小規模補助プログラム
 - ベースライン評価指標の開発
- 等

研究 政策への貢献

- ケーススタディレビュー
- 国家戦略
- 昆明・モンリオール生物多様性枠組

様々なメンバー、団体等との
シナジーやネットワークを促進。



国境を越えた知見共有、協力

ウガンダ × イタリア



Nature and Livelihoods(https://sdm.satoyama-initiative.org/projects/2024_uganda/)

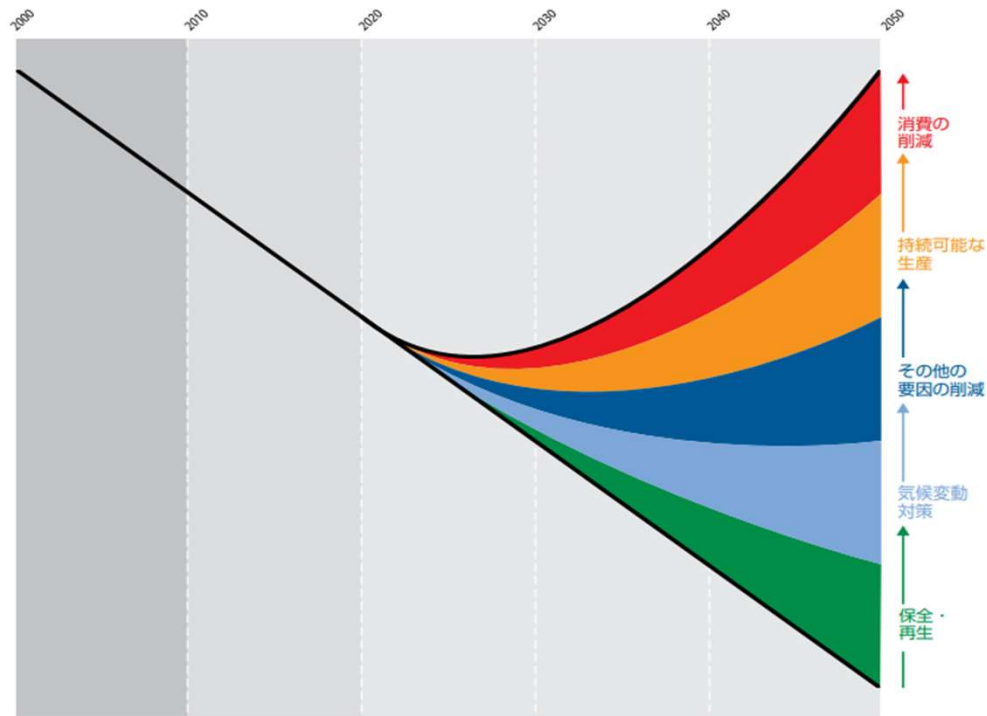
コロンビア × 日本



Corporación Ambiental y Forestal del Pacífico (CORFOPAL)
(https://sdm.satoyama-initiative.org/projects/2024_colombia/)

IPSIの戦略と行動計画2023-2030

生物多様性の損失を減らし、回復させる行動のポートフォリオ



生物多様性条約事務局「地球規模生物多様性概況第5版(GB05)」(2020)



Strategy and Plan of Action 2023 -2030 of the
International Partnership for the Satoyama Initiative

★5つの戦略目標

- ・ 知識の共同生産、管理、活用
- ・ 制度上の枠組みおよび能力開発
- ・ 地域ベースの保全対策
- ・ 生態系の回復
- ・ 持続可能なバリューチェーン開発

ご清聴ありがとうございました。

皆様のIPSIメンバーへのご参画をお待ちしています！

isi@unu.edu

